

## ゆいの安全管理について

施設内では、皆様の安全・快適な生活環境の維持の為に定期的に様々な点検や確認作業が行われています。

先日は所長と管理栄養士が自ら新職員へ、災害備蓄倉庫の場所と備蓄用品（保存食や飲料・使い捨て容器・簡易トイレ等）の説明を行っておりましたので事務戸花からご報告致します。

ゆいでは年に数回、避難訓練（火災・地震・水害時を想定して）が行われているのと同時に、所長が緊急連絡網（災害や非常時に全職員へリレー形式で連絡と安否確認）のシュミレーションや、今回の様に新職員への備品倉庫の場所確認・備蓄品の紹介をしながら、実際に災害があった場合の対応方法の説明し、職員の素朴な質問にも解りやすくお話しされていました。

どの場合においても、まずは利用者様の身体の安全確保が第一になりますが、同じ位大切なのは「食料と水分の確保」になりますので、ゆいでは利用者・職員の人数分×1日3食分を最低3日間分（衛生面に配慮し使い捨て容器を保管）

更に水無しで使用できる簡易トイレやコロナ禍で学んだ教訓を生かし、マスクやプラスチックグローブ・次亜塩素と消毒液も充分備蓄しておりますので日々の生活はもちろん、いざという事態にも備えは怠っていません。

利用者様の大切な命と安全な生活を維持する為に、今後も引き続き所長を筆頭にゆいの安全管理基本を継承して行きたいと思えます。

